地下鉄マスコット　ちかまる



「地下鉄に乗ると目的地がちかまる」という意味から名前がついたよ。

［誕生日］7月26日
［特　徴］とってもかわいいこと
　　年をとらないこと
［モデル］オグロプレーリードッグ
　　（リス科）

地下鉄環境キャラクター　メコロ

地下鉄という意味の「メトロ」と環境「エコロジー」を含わせて名前がついたよ。



［好きなもの］街をきれいにすること
［特　徴］緑の国からやってきた
　　魔法使い見習いの女の子
［性　格］好奇心旺盛

福岡市地下鉄

福岡市地下鉄概要パンフレット 令和7年8月発行

福岡市中央区大名2丁目5番31号
交通局総務部広報戦略課
TEL（092）732-4209
FAX（092）721-0754
koho.TB@city.fukuoka.lg.jp

福岡市地下鉄　検索

https://subway.city.fukuoka.lg.jp

アジアのリーダー都市へ FUKUOKA NEXT

FUKUOKA CITY SUBWAY



街をつなぎ　人を結ぶ。

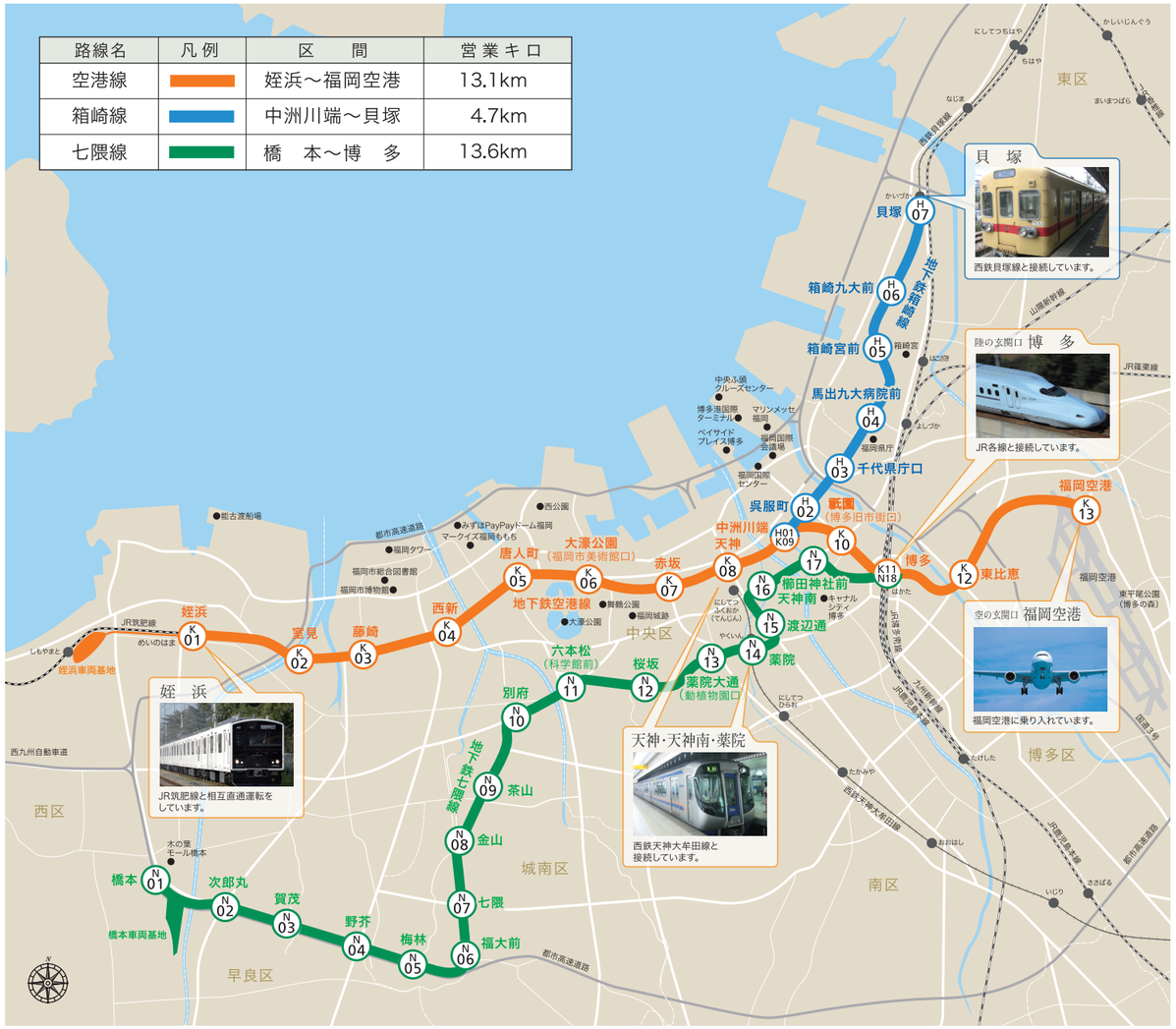
福岡市地下鉄

FUKUOKA CITY SUBWAY

お客様と福岡のまちの笑顔と元気を運びます。

福岡市の地下鉄は、昭和56年7月26日に室見～天神間で開業しました。
その後、順次延伸を重ね、平成17年2月の橋本～天神南間開業により、現在の空港線、箱崎線、七隈線の3路線体制となり、令和3年7月に開業40周年を迎えました。
空港と都心部を約10分で結ぶアクセスの良さや、空港線、箱崎線、七隈線から各交通機関への乗り継ぎの良さを活かして、多くの人々の交通手段として走り続けています。
また、七隈線では、令和5年3月27日に天神南～博多間が延伸開業し、鉄道ネットワークがさらに強化されました。
これからも安全・安心の徹底と、より快適なサービスの提供を目標に、福岡市地下鉄はさらなる前進を続けます。

路線名	凡例	区　間	営業キロ
空港線		姪浜～福岡空港	13.1km
箱崎線		中洲川端～貝塚	4.7km
七隈線		橋　本～博　多	13.6km



駅シンボルマーク

空港線

- **姪浜** めいのはま — 近くの小戸ヨットハーバーのヨットをデザイン。
- **室見** むろみ — 室見川のイメージを流れる美しい線で表現。
- **藤崎** ふじさき — 駅名の"藤"から藤の花をデザイン。
- **西新** にしじん — 西新のイニシャル"N"を、学生の町らしくペンとえんぴつでデザイン。
- **唐人町** とうじんまち — 大陸文化の町唐人町を、壺に唐草模様をアレンジした"唐"の文字をのせて表現。
- **大濠公園** おおほりこうえん (福岡市美術館口) — 西公園、福岡城跡など、付近の桜の名所から。
- **赤坂** あかさか — 赤坂の"ア"を平和台陸上競技場のスポーツ選手に見立てて。
- **天神** てんじん — 天神町の名の起こり「天神様」を梅の花で表現。
- **中洲川端** なかすかわばた — "中"と"川"を、博多祇園山笠の長ハッピの柄にデザイン。
- **祇園** ぎおん (博多旧市街口) — 博多祇園山笠で走るハッピ姿の若者をかわいらしく。
- **博多** はかた — 商業の町「博多」を博多織りの模様で表現。
- **東比恵** ひがしひえ — 東比恵の"ひ"を比恵遺跡の土器風にあデザイン。
- **福岡空港** ふくおかくうこう — 大空に飛び立つ飛行機と白い雲をデザイン。

箱崎線

- **中洲川端** なかすかわばた — "中"と"川"を、博多祇園山笠の長ハッピの柄にデザイン。
- **呉服町** ごふくまち — 古くから栄える博多の港に、平安時代に出入りしていた交易船をデザイン。
- **千代県庁口** ちよけんちょうぐち — 商売の守り神、「十日恵比須神社」から、えびす顔をデザイン。
- **馬出九大病院前** まいだしきゅうだいびょういんまえ — 東公園のハトをデザイン。
- **箱崎宮前** はこざきみやまえ — 筥崎八幡宮の大鳥居から。
- **箱崎九大前** はこざききゅうだいまえ — 千代の松原の"松"と九州大学の"九"をデザイン。
- **貝塚** かいづか — 駅名の"貝"から、巻貝をデザイン。

福岡市地下鉄は全国でも珍しい「シンボルマーク」を各駅に制定。シンプルモダンなデザインで、地下鉄を利用される方々に親しまれています。

七隈線

- **橋本** はしもと — 「紅葉八幡宮」があったことから、飯盛山にvモミジを組み合わせて。
- **次郎丸** じろうまる — 駅の近くを流れる室見川を象徴するものとしてホタルをデザイン。
- **賀茂** かも — 賀茂神社に古くから伝わるナマズ伝説を元にナマズをデザイン。
- **野芥** のけ — 椎原川から引かれた用水路「樋水路」にちなみ、流れの中に浮かぶ椿の花をデザイン。
- **梅林** うめばやし — 駅名の「梅林」を梅の花とつぼみでデザイン。
- **福大前** ふくだいまえ — 福岡大学の応援歌「七隈トンビ」にちなみ、トンビに学生帽をあしらって。
- **七隈** ななくま — 古くは荷物を運ぶ荷車が多く「七車」とも呼ばれた由来から、七つの点を輪の形にデザイン。
- **金山** かなやま — 金山の「金」の字をシンプル化した三角形に、希望を表す虹を重ねてデザイン。
- **茶山** ちゃやま — 古くからお茶を生産していた場所から、お茶の新芽をデザイン。
- **別府** べふ — 別府の"べ"を「別府大橋跨線橋」と雲を合わせてデザイン。
- **六本松** ろっぽんまつ (科学館前) — 古くから交通の要衝として目印であった「松の木」を、六本の枝葉で表現。
- **桜坂** さくらざか — 駅名と南公園や周辺の桜が、風に舞う様子を表現。
- **薬院大通** やくいんおおどおり (動植物園口) — 「福岡市動植物園」が近くにあることから、ゾウと花でデザイン。
- **薬院** やくいん — 施薬院があったことから、薬を作る乳鉢と乳棒をデザイン。
- **渡辺通** わたなべどおり — 路面電車を通した人の名の由来から、チンチン電車をデザイン。
- **天神南** てんじんみなみ — 「てんじん様の細道じゃ～」と歌いながら「通りゃんせ」をして遊ぶこどもをデザイン。
- **櫛田神社前** くしだじんじゃまえ — 櫛田神社の「銀杏(ぎなん)」の葉と、博多祇園山笠の「舁縄」を組み合わせたデザイン。
- **博多** はかた — 商業の町「博多」を博多織りの模様で表現。

目　次

内　容	ページ
福岡市地下鉄の紹介	3～6
安全・安心の確保	7～10
快適で質の高いサービスの提供	11～12
地球の環境を守るために	13～14

空港線（姪浜～福岡空港）

平成5年3月3日に姪浜から福岡空港まで全線開業。
全国で初めて、地下鉄の空港乗り入れを実現しました。

- □営業キロ……13.1km
- □駅数……13駅
- □平均駅間距離……1.09km

箱崎線（中洲川端～貝塚）

昭和61年11月12日に全線開業した市の東部を走る路線。沿線には古くからの寺社があり、祭りのときなど多くの利用者でにぎわいます。

- □営業キロ……4.7km
- □駅数……7駅（中洲川端駅含む）
- □平均駅間距離……0.78km

七隈線（橋本～博多）

平成17年2月3日に開業した路線で福岡市西南部の慢性的渋滞の緩和や沿線地域の活性化に役立っています。令和5年3月27日には、天神南から博多までの延伸区間が開業しました。

- □営業キロ……13.6km
- □駅数……18駅(博多駅含む)
- □平均駅間距離……0.80km

福岡市のあらまし

福岡市は、古くから大陸との交流の中で成長し、豊かな歴史に育まれたまちです。また、充実した交通網、都心と住宅地の近さ、商業施設の集積など高い都市機能を備えるとともに、海や山などの豊かな自然にも恵まれており、住みやすい都市としての評価を得ています。
1889年に福岡市制を施行し、2019年で130周年を迎えました。

福岡市地下鉄の紹介

●車両紹介　福岡市の地下鉄では、下記の5種の車両が運行を行っています。

空港線・箱崎線

※編成数は令和7年7月末現在



1000N系車両

運行路線	空港線・箱崎線
編成数	15編成（1編成6両）*
定員	854人
運用開始年	昭和56年（1次車）

昭和56年の空港線（室見～天神）開業当初より運行している車両で、ステンレス製の車体に玄界灘を表現した青と白のストライプを入れたデザインとしています。
平成10年より順次車体等のリニューアルをおこない、名称を1000系から1000N系に変更しました。

*順次4000系へ更新



2000N系車両

運行路線	空港線・箱崎線
編成数	6編成（1編成6両）
定員	854人
運用開始年	平成4年（1次車）

平成5年の空港線（博多～福岡空港）開業時に増備した車両で、オールステンレス製です。
1000系車両のイメージを踏襲しながら、車体形状は堅さを感じさせない丸みをもったデザインとしています。平成30年より順次車体等のリニューアルをおこない、名称を2000系から2000N系に変更しました。



4000系車両

運行路線	空港線・箱崎線
編成数	5編成（1編成6両）*
定員	849人
運用開始年	令和6年

1000N系車両の更新に伴い、令和6年より運行開始した車両でアルミ製の車体に福岡空港との接続をイメージしたスカイブルーを車体中央部に配色したデザインとしています。
「一人ひとりにやさしい移動空間」をコンセプトに、お客様の快適性に最大限配慮した車両となっています。

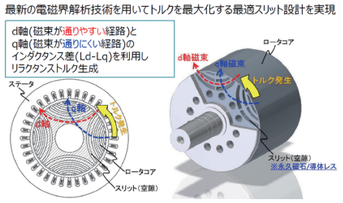
*令和9年度までに計18編成導入予定

●フリースペースの設置（6号車）



6号車にはフリースペースを設け、車いすやベビーカーをご利用のお客さまのほか、大きな荷物をお持ちの方が快適に利用できるようにしました。

●新技術の導入



営業列車としての本格導入が世界初となる「同期リラクタンスモーター」の採用などにより、これまでの車両と比べて約40%もの省エネ化を実現しています。

ローレル賞とは　「鉄道友の会」が毎年1回、日本国内で営業運転を開始した新造および改造車両のうち、選考委員会の審議により、車両性能、デザイン（外形・室内）、製造企画および運用面などの諸点において優秀と認められる車両を選定し授与するものです。

七隈線



3000系車両

運行路線	七隈線
編成数	17編成（1編成4両）
定員	378人
運用開始年	平成17年

平成17年の七隈線（橋本～天神南）開業当初より運行している車両で、アルミ製の車体に福岡市の西南部地域の山々を表現したグリーンと室見川等の川の流れを表現したブルーの2色のラインを入れたデザインとしています。なお、3000系車両は、鉄輪式リニアモーターを採用しています。このシステムは、磁気浮上式ではなく、鉄輪で車体を支え、起動力をリニアモーターで発生させるシステムです。



3000A系車両

運行路線	七隈線
編成数	4編成（1編成4両）*
定員	351人
運用開始年	令和4年

七隈線の天神南～博多延伸に合わせて、令和4年に運用を開始した車両で、3000系からの主なデザインの変更点として、車体上部の色を「スカイブルー」にしています。「スカイブルー」は地下鉄3路線とJR線や西鉄天神大牟田線が一体的に機能する鉄道ネットワークが充実することで、「空の玄関口」福岡空港へつながることと、希望の未来を示す、広く澄んだ青空の色です。

*令和9年度までに計8編成導入予定

●開業の歩み

令和7年7月末現在

昭和56年	7月26日	室見～天神開業
昭和57年	4月20日	天神～中洲川端、中洲川端～呉服町開業
昭和58年	3月22日	姪浜～室見、中洲川端～博多（仮駅）開業、国鉄（現:JR九州）筑肥線と相互直通運転開始
昭和59年	4月27日	呉服町～馬出九大病院前開業
昭和60年	3月3日	博多（仮駅）～博多開業
昭和61年	1月31日	馬出九大病院前～箱崎九大前開業
	11月12日	箱崎九大前～貝塚開業、西鉄宮地岳線（現:西鉄貝塚線）と接続
平成 5年	3月3日	博多～福岡空港開業
平成17年	2月3日	橋本～天神南開業
令和 5年	3月27日	天神南～博多開業



昭和56年
空港線（室見～天神）開業


昭和58年
JR筑肥線との相互直通運転開始


平成17年
七隈線（橋本～天神南）開業


令和5年
七隈線（天神南～博多）延伸開業

●特色ある駅の紹介

赤坂駅

長浜エリア活性化の取組みとして、魚食普及推進施設「うおざ」がオープンするタイミングにあわせて、令和6年度に最寄り駅の地下鉄赤坂駅を装飾しています。





祇園駅
副駅名 博多旧市街口

「博多旧市街」エリア散策に最適なスタート地点である祇園駅構内を、このエリアにまつわる伝説や逸話を織り交ぜたイラストで装飾しています。





櫛田神社前駅

改札フロアやホームの床は、櫛田神社の石畳参道をイメージした床タイルになっており、地下1階コンコースに博多祇園山笠の壁面装飾等を行っています。




薬院大通駅
副駅名 動植物園口

ホームや階段などに、園の動植物に関する豆知識を紹介するなど、令和5年度の開園70周年に合わせて、PR装飾を全面リニューアルしています。





●各種乗車券



ICカード乗車券 全国相互利用サービス

交通系ICカード全国相互利用のシンボルマーク

Kitaca　PASMO　Suica　manaca　tdca　PiTaPa　ICOCA　nimoca　SUGOCA

利用可能なICカード

福岡市地下鉄では、はやかけんを含む全10種類のカードが利用できます。
また「はやかけん」で上記のカード（全9種）が使える全ての鉄道・バスなどの乗車も可能です。
さらに、上記のマークのある場所では、「はやかけん」電子マネーでお買い物等ができます。
（※「PiTaPa」は、電子マネー相互利用の対象外です。）

タッチ決済乗車サービス

タッチ決済対応クレジットカード等（※1）を自動改札機の専用読み取り部にかざすことで、福岡市地下鉄にご乗車いただけます。



◎1日最大料金（上限640円）サービス

同一のタッチ決済対応クレジットカード等（※2）で乗車して一日乗車料金の合計額が640円を超えた場合、該当の乗車日に対する請求額が、事前手続きなしで1日乗車券と同額の640円（障がい者割引・小児料金では320円）となります。

◎障がい者割引・小児料金

障がい者割引・小児料金対象の方は、駅窓口でお申し出いただくと（※3）割引料金でご利用いただけます。

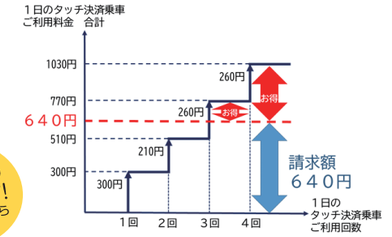
◎1か月最大料金サービス

同一のタッチ決済対応クレジットカード等（※2）で乗車して毎月1日から末日までの1か月間の乗車料金が12,570円を超えた場合、ちかパス（全線定期券）の1か月と同額の12,570円となります。

※1:デビット、プリペイド、スマートフォン、ウェアラブル端末を含みます。
※2:同一カード番号でも、クレジットカードとスマートフォンは別媒体となり、決済額は別計算となります。
※3:駅窓口へのお申し出は、改札入場時は毎回必要ですが、改札出場時は不要です。

スマホも使えます! 詳しくはこちら

〈利用例〉1日のタッチ決済乗車



●お得で便利な乗車券

おすすめの1日乗り放題乗車券

小児…小学生
※ちかパス・1日乗り放題乗車券の情報は令和7年7月末現在

大人1人で　1日乗車券（大人1人で1日乗り放題）

- 料金　640円
- 対象　大人1人 ※小児、割引は半額
- 発売場所　・駅券売機 ・お客様サービスセンター（定期券うりば） ・天神観光案内所 ・博多駅観光案内所 ・博多港国際ターミナル総合案内所

子ども1人で　小学生100円パス（小学生1人で1日乗り放題）

- 発売期間　土日・祝日、夏休み※、冬休み※、春休み※ ※福岡市立小学校の長期休業期間（学年始・夏季・冬季・学年末）が対象
- 料金　100円
- 対象　小児1人
- 発売場所　駅券売機（姪浜駅えきマチ1丁目口を除く）

ご家族で　ファミちかきっぷ（家族で1日乗り放題）

- 料金　1,000円
- 対象　小児以下の子どもがいる家族 ※2親等以内（事実婚含む） ※大人は2人まで、子どもは人数制限なし
- 発売場所　・「my route」アプリ ※事前にスマートフォン等で購入いただき、デジタル乗車券としてご使用ください。 ・駅窓口（姪浜駅えきマチ1丁目口を除く） ・お客様サービスセンター（定期券うりば）

地下鉄全線乗り放題定期券

発売場所
- ●お客様サービスセンター（定期券うりば）
- ●「はやかけん」マークがある地下鉄の駅券売機
（※学生用の新規購入は、天神南・薬院・福大前・野芥・橋本駅に限る）

ちかパス

どこから乗っても、どこで降りても、
地下鉄全線乗り放題!
今お使いの定期料金に少しプラスするだけ!

※JR九州または西鉄との連絡（乗り継ぎ）定期券も購入できます。
博多駅接続のJR連絡定期券は、お客様サービスセンター（定期券うりば）でのみ購入できます。

詳しくは地下鉄HPで

沿線の一部施設で上記の乗車券等を提示すると、
割引等の特典サービスが受けられます!

詳しくは、地下鉄HPで
福岡市地下鉄　特典施設　検索

料金等のお問い合わせ先
お客様サービスセンター（各種案内）
TEL 092-734-7800
（8:00~20:00 ※年中無休）

安全･安心の確保

福岡市地下鉄は、輸送の安全の確保を第一の使命とし、
お客様に安全･安心で快適･便利な輸送サービスを提供することを目指しています。
そのため、輸送の安全を確保するための基本的な方針を定め、
全ての職員及び関係者が常に心がけ行動します。
また、運輸安全マネジメントの考え方に基づき、安全管理体制を構築し、安全性向上に努めます。

安全方針

1.安全を全てに優先する。
1.安全に関する規程を遵守する。
1.誠実、厳正に職務を遂行する。

安全行動規範

1.一致協力して輸送の安全の確保に努めます。
2.輸送の安全に関する法令及び関連する規程をよく理解するとともにこれを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行します。
3.常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めます。
4.車両、線路、保安設備等を常に安全な状態に保持するよう努めます。
5.職務の実施に当たり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のある時は最も安全と思われる取り扱いをします。
6.事故･災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、すみやかに安全適切な処置をとります。
7.情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保します。
8.常に問題意識を持ち、業務の見直しが必要な場合は、積極的に対処します。



安全管理体制

経営トップである交通事業管理者を最高責任者とし、安全統括管理者、運転管理者、乗務員指導管理者、その他責任者による体制を確立しています。

安全管理方法

輸送の安全の確保に関する施策を計画し、進捗状況を管理しながらその計画を確実に実施します。実施後は、その結果をチェックして必要な改善を行い、さらに、その改善の結果を次の計画策定に活かします。
このように、PDCA（Plan:計画、Do:実施、Check:評価、Action:改善）サイクルを繰り返し実行することによって、安全性の向上を図っています。



P（計画）
安全施策、事故対策などの策定

D（実施）
計画に従って、施策、対策を実施

C（評価）
内部監査等にて、施策、対策の進捗を評価

A（改善）
評価をもとに改善を図り、次の計画に活かす

安全重点施策

安全目標	目標達成のための取組み
安全運行の実現	鉄道運転事故・輸送障害・インシデントのゼロ
	安全性向上のための人材の育成・管理
	車両、構造物、駅施設及び設備の計画的改良
安全最優先の組織風土を確立	運輸安全マネジメントの推進
万一の事故・災害等に備えて	自然災害等の対応
	外部への情報提供
	関係機関と連係した各種訓練の実施など
安心してご利用いただくために	駅係員の普通救命講習受講
	各駅の AED の適切な管理
	お客様への適切な情報提供

安全報告書

輸送の安全を確保するための取組みや、
事故の発生状況等の安全にかかわる情報を、
毎年とりまとめて公表しています。
安全報告書は、福岡市地下鉄のホームページで
見ることができます。



詳しくは
地下鉄HPで
ご覧いただけます。

福岡市地下鉄が皆様に信頼される交通機関として走り続けるために必要なのは、安全な走行と正確な運行です。そのためには、車両やレールなど各設備のメンテナンス、そして運行状況を管理するためのシステム運営が欠かせず、職員一人ひとりが安全の確保を最優先に、日々の業務に取り組んでいます。

駅施設等

●ホームドア

列車との接触事故やホームからの転落を防止するため、全駅にホームドアを設置しています。



●AED

救急救命用として、全駅、全改札口にAED（自動体外式除細動器）を設置しています。



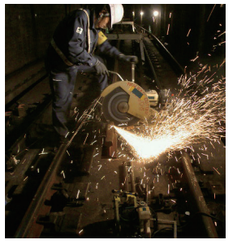
●車内非常用設備ステッカー

非常用設備の位置や使用方法を分かりやすくするため、地下鉄全車内に車内非常設備等の表示に関するガイドラインに基づいたステッカーを表示しています。



軌道施設の管理・更新事業

将来にわたり地下鉄を安全に運行するため、更新時期を迎える軌道施設（レールなど）について、長期的な更新計画を策定し、計画的な更新に取り組んでいます。



レール切断



レール横移動



レール溶接

保守点検

●トンネル内

安心してご利用いただくため、昼夜を問わず線路や土木構造物、電力及び信号設備等の保守点検を行っています。



トンネル巡視



構造物打音検査

●車両

車両が安全で正確に運行できるように、車両基地では様々な検査や修繕を行っています。



重要部・全般検査

訓　練

万一不測の事態が発生したときにも、迅速・正確に対応できるよう、様々な訓練を行っています。代表的なものとして、車内での手荷物からの発煙・発火時の対応訓練、博多駅地区や天神地区における駅隣接ビルなどの関係事業者と合同で「浸水防止訓練」を実施しています。



車内での発煙・発火時の対応訓練



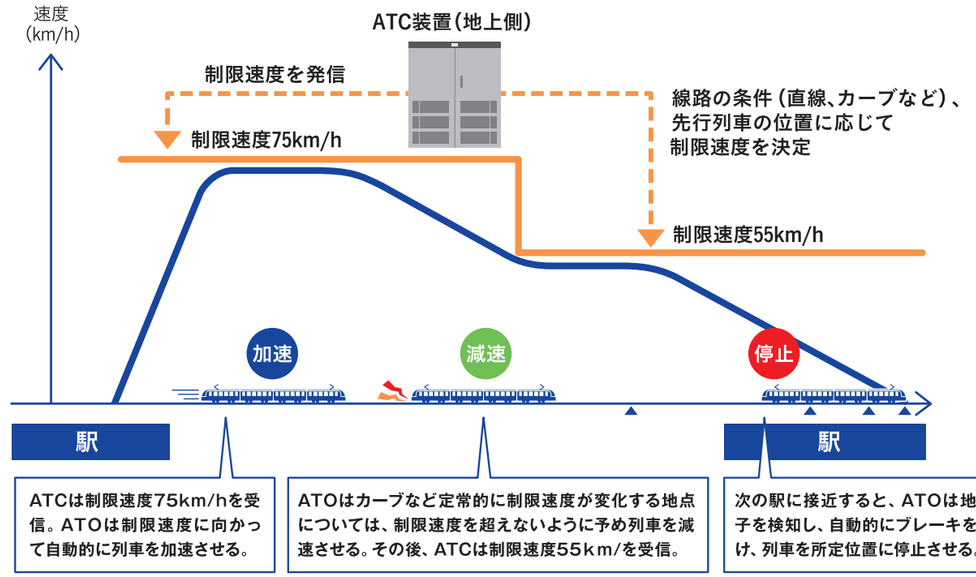
浸水防止訓練

運行システム

制限速度　列車速度　▲地上子（列車に地点情報を与える地上設備）

●ATCとATOの機能

ATC（自動列車制御装置）は、先行列車の位置や線路条件（カーブなど）に応じた制限速度を常時列車に伝え、列車の走行速度を制御します。制限速度を超えた場合には自動的にブレーキがかかり、安全な速度まで減速させます。
ATO（自動列車運転装置）は、ATCの制限速度に従って、自動的に列車の加速・減速を制御する装置です。また、次の駅に近づくと自動的に列車をホームの所定位置に停止させます。



ATCは制限速度75km/hを受信。ATOは制限速度に向かって自動的に列車を加速させる。	ATOはカーブなど定常的に制限速度が変化する地点については、制限速度を超えないように予め列車を減速させる。その後、ATCは制限速度55km/を受信。	次の駅に接近すると、ATOは地上子を検知し、自動的にブレーキをかけ、列車を所定位置に停止させる。

車両側のATC、ATOの動き

●運輸指令所

運行管理システム、中央防災盤、列車無線等のシステムを活用し、常に列車の運行状況等を監視しています。
万一、事故・災害が発生した場合はお客様の安全確保を最優先に、速やかな復旧や運転再開を図ります。



防犯対策

●防犯カメラの設置

テロや痴漢・盗撮等の犯罪・トラブル防止のために、駅構内及び一部の車両にカメラを設置しています。また、令和6年度から、車両にてリアルタイム機能付き防犯カメラの運用を開始しており、令和9年度までに全車両導入予定です。



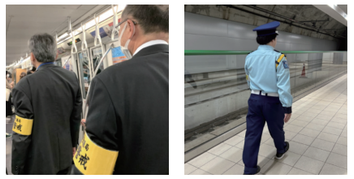
駅構内防犯カメラ



車内防犯カメラの設置（4000系）

●巡回警備の強化

車内・駅構内での犯罪の未然防止及び犯罪等発生時の対応力向上のため、警察OB職員や民間警備会社による巡回警備を実施しています。



巡回警備の様子

快適で質の高いサービスの提供

すべてのお客様に地下鉄を快適かつスムーズにご利用いただけるよう、駅や車両にユニバーサルデザインを積極的に取り入れています。

みんなが使いやすい環境づくり



●幅広改札機

ベビーカーや車いすをご利用の方、大きな荷物をお持ちの方などが利用しやすい、通路幅の広い改札機を全改札口に設置しています。



●券売機

どなたでもご利用しやすいよう傾斜型の券売機を全駅に設置しています。また、車いすをご利用の方への蹴込みスペース（七隈線）や目の不自由な方への点字運賃表など、利用しやすい環境づくりをしています。



●ホームと車両のすき間

ベビーカーや車いすをご利用の方などの乗り降りがスムーズにできるよう、七隈線では、ホームと車両のすき間や段差を小さくしています。

●エレベーター

ベビーカーや車いすをご利用の方などバリアフリールートを必要とする方に、安心して快適にエレベーターをご利用いただくために優先利用案内及び優先レーンを設置しています。



●旅客案内設備

駅ホーム及び改札口に設置している旅客案内表示器では、行先や乗り換え情報を表示するとともに、列車遅延時には遅れ時間などの情報も提供しています。

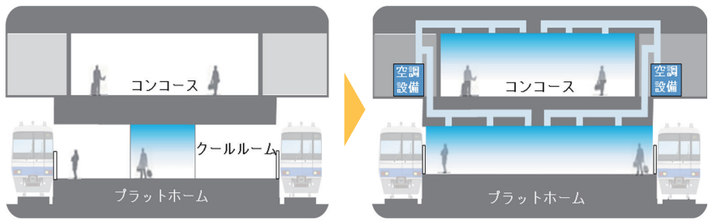
① 遅れ時間が分かります。
② 乗り換えに便利な列車が分かります。
③ JR「快速」の停車駅も分かります。



●地下駅の全館冷房化の推進

お客様に快適にご利用いただくため、近年の平均気温の上昇やお客様からの声を踏まえ、地下駅の全館冷房化を推進します。

地下駅全駅34駅中、天神駅・博多駅など9駅は全館冷房設置済み



●優先スペース

全車両に車いすやベビーカーをご利用になる方のための「優先スペース」を設け、ホームドアに案内サインを表示しています。





●みんなにやさしいサイン

「認知症の人にもやさしいデザイン」をトイレ案内サインへ導入しています。



●立ち座りしやすいシート

3000A系及び4000系車両中間車の優先席の一部には、座面を通常のシートより高くし、シート間に立ち座り動作の補助にも使える肘掛を設けたシートを導入しています。



来街者にも使いやすい環境整備とサービスの提供

●地下鉄駅コンシェルジュ

福岡を訪れる方をはじめ多くの方々に地下鉄を快適にご利用いただけるよう、博多駅及び福岡空港駅に外国語対応可能な案内専門スタッフ「地下鉄駅コンシェルジュ」を配置し、地下鉄の利用方法や福岡の観光情報等をご案内しています。



●4か国語表記

天神・博多・福岡空港など22駅では、日本語・英語・中国語・韓国語の4か国語で駅構内の誘導案内などを表記しています。
また、全駅の券売機は、画面の表示を日本語・英語・中国語・韓国語の4か国語に切り替えることができます。





●外国語サポートサービス



地下鉄全駅の窓口及びお客様サービスセンター7か所で、英語・中国語・韓国語など全22か国語の電話通訳システムによるサービスを実施しています。

快適・便利な環境づくり

●乗車マナー向上への取組み

快適で気持ちよく地下鉄をご利用いただくため、車内や駅構内で、放送、ポスター、ステッカーなど、各種広報物による啓発を実施しています。また、優先席・優先スペースのホームドアにおける案内サインの充実や、エスカレーターの「歩かず２列で」利用についてAIなどの新技術を活用するなど、様々な啓発活動に取り組んでいます。





●沿線イベント開催に合わせた臨時列車の運行

博多祇園山笠やドームでのコンサートなどの沿線イベント開催に合わせ、混雑緩和や利便性向上を図るため、臨時列車を運行しています。



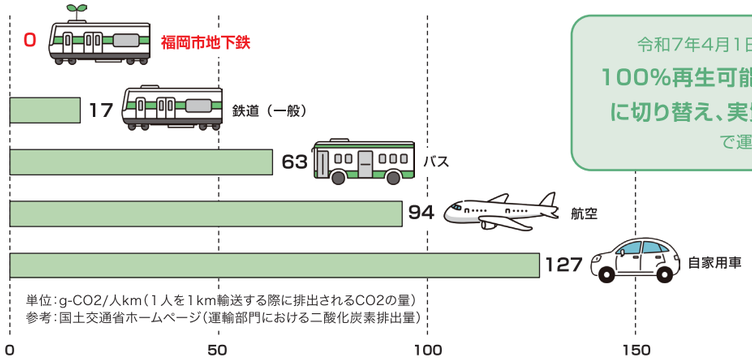
地球の環境を守るために

環境にやさしい地下鉄をもっと知ってもらい利用してもらうための取組みを推進しています。また、開業当時より取り組んできた、省エネやリサイクルなどの環境負荷低減の取組みについても、より積極的に推進していきます。

環境にやさしい地下鉄

●鉄道が排出するCO2量

鉄道が1人を1km運ぶときの二酸化炭素の排出量は、
バスの約4分の1、自家用車の約7分の1です。



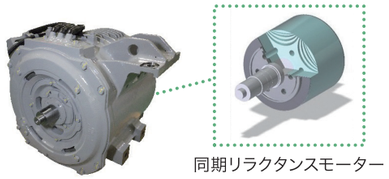
令和7年4月1日より全路線の使用電力を
100%再生可能エネルギー由来の電力に切り替え、実質的にCO2排出量ゼロ
で運行しています。



環境負荷低減の主な取り組み

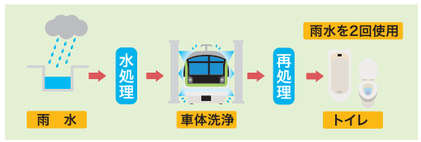
●高効率モータの採用

4000系車両では「同期リラクタンスモーター」の採用により、電力使用量を低減しています。


同期リラクタンスモーター

●雨水循環利用システム

橋本車両基地では、雨水を溜めて車体の洗浄水として利用した後、その汚水を再処理して橋本駅や車両基地内の水洗トイレ用の水として再利用しています。



●軽量タイプの車両

地下鉄の車両は鋼製に比べて軽いステンレスやアルミでできており、電力消費量が少なくすみます。


2000N系車両


3000系車両


4000系車両

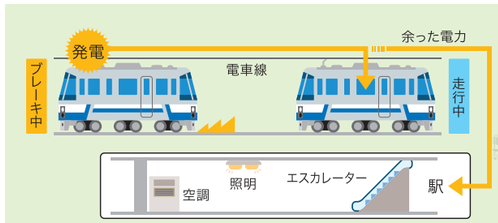
●太陽光発電システム

橋本車両基地では太陽光発電システムを設置しています。このシステムは、最高50kW（一般家庭の使用量の約13世帯分）の電気を発電することができます。

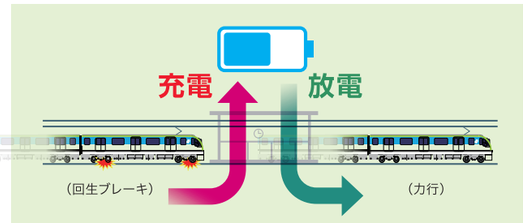


●回生ブレーキ

ブレーキをかけたときに発生したエネルギーを電力に変え、他車両の運行や駅施設などに使用しています。



※空港線・箱崎線の場合



【回生電力貯蔵装置 充放電イメージ】※七隈線の場合

●駅照明等のLED化

省エネの取り組みとして、ホーム・コンコースなどの駅照明やトンネル内照明、駅構内の電照広告のLED化を推進しています。


LED照明導入例

●エスカレーター自動作動・自動停止



利用者の接近を検知して自動的に作動し、利用者がいないときは運転を停止しています。

●調光システムを採用したきめ細かい照度調整

一部の駅では、灯具の明るさを調整できる調光システムを採用し朝ラッシュ時には明るく、昼間は照度を抑えるなど、時間帯に連動した照度調整を行っています。

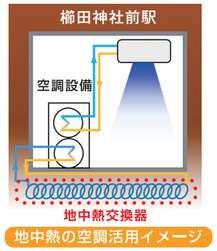
七隈線櫛田神社前駅


コンコース階


ホーム階

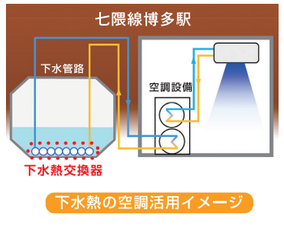
●地中熱・下水熱を活用した空調の導入

地中や下水の温度は、大気中の温度変化の影響を受けにくく、一年を通してほぼ一定であることを活かし、七隈線櫛田神社前駅では地中熱交換器を、七隈線博多駅では下水熱交換器を設置し、駅の空調に利用しています。

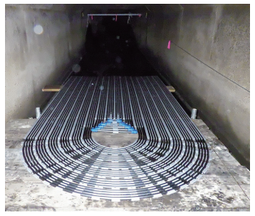


地中熱の空調活用イメージ


地中熱交換器



下水熱の空調活用イメージ


下水熱交換器

環境を守るために